

「これも日本語？」



毎年、この季節になると「新語・流行語大賞」が発表されます。今年は、平昌五輪冬季オリンピックで活躍したカーリング女子日本代表の「そだねー」に決定したそうです。最近、従来から使われてきた日本語とは違う新語が若者を中心に使われているようです。

例えば、「しょんどい」・・・正直、しんどい 「ペコる」・・・お腹が減ること。など聞いただけでは、意味がすぐに分からない言葉があります。従来の言葉を省略したり、複数の言葉を一つにしたり、英語と日本語を混ぜてみたりなど時代を背景にして新語が使われるようになってきているようです。ただ、伝統的な日本語が失われてしまうことを危惧します。活字離れが多くなり、年賀状など手紙を書く機会も少なくなってきています。

子供たちに古来から伝わる日本語に触れてほしいということで童謡の歌詞や日本昔話の読み聞かせをしたことがあります。子供たちは、懐かしい言葉を聞くたびに美しい日本語の音韻に触れることができます。レインボー学園では、国語の勉強をとおして、様々な言葉を学び、使うことで、日本人としての心情や日本文化に触れてほしいと考えております。ご家庭で、「カルタ遊び」や「百人一首」など言葉に触れる機会が多くなると語彙力も高まっていくと思います。

「千里の道も一歩から」

このことわざは、「老子」の中で使われている言葉で、座右の銘にしている人も多いと思います。

人生の教訓になる深い意味のことわざです。「大きな事柄でもまずは目の前の事を着実にこなし、努力を続けていけば成功する。」という意味です。

算数の授業でこのことわざを素材にして学習をしたことがありました。

まずは、このことわざには、距離を表す「千里」という言葉が含まれています。「千」は数の大きさを表す言葉。「里」は、距離の単位。メートル法では、一里＝約4 km (日本では)です。千里を手際よく求めるために、かけ算で計算します。つまり、千里＝4000 kmになります。次に一歩を80 cmとすると、千里を歩いたら、何歩になりますか。という問題です。簡単な演算ですが、興味を持たせることで、「ことわざと長さの単位」の学習ができます。学習に興味関心を持つ事が重要ですね。

【お知らせ】

次週、12月15日に幼稚部のお楽しみ会を開催します。お楽しみ会では、素敵な歌声やダンスを発表します。子供たちの成長を是非ご覧ください。駐車場については、ポフカイナ駐車場、及び、KCCの駐車場Dロットをご利用ください。また、幼稚部の降園時間が、さくら組普通・さくら組延長・もみじ組とも12時20分となります。お間違いないようにお願いします。

【お願い】

☆12月10日(月)に 第4期(後期後半)の授業料の銀行引き落としを行います。口座の入金のご確認をよろしくお願いします。

<今週の日本語は>

① 次のことわざで□に入ることばは何？

のうある□□は、□□をかくす (ヒント：鳥の名前、体に一部分)

意味：実力のある人は、それをじまんしたりしないこと。

② <なぞなぞコーナ>

「目」が3つで、「足」が1本 これなに？

(ヒント：交通事故にあわないようにまもりましょう。)

③ 次の漢字の何と読むでしょう。

不丹→ブー□□ (世界一幸せな国) 海豚→□□□ (ハワイの海でよく見かけます)

答えがわかった人は、昼休みに来てください。

※先週の答えは、「あたま、しり」「てんとうむし」「ラーメン」「和牛」でした。

